



(様式例第8)

出郡医発第703号
平成25年10月23日

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎 殿

公益社団法人 出水郡医師会
会長 古郷 米次郎

出水郡医師会立阿久根市民病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

1 紹介患者への医療提供及び他院への患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	79.5%	算定期間	平成24年 4月 1日 ～平成25年 3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数	4,300人	
	B : 救急患者の数	440人	
	C : 初診患者の総数	5,962人	

他の病院又は診療所に紹介した患者の数	5,903人 (3,333人)
--------------------	----------------------

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に、「A : 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

2 共同利用の実績(様式例第9)

3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	1, 823人 (1, 014人)
上記以外の救急患者の数	4, 027人 (964人)
合計	5, 850人 (1, 978人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	4台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績 (様式例第5)

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 (様式例第6)

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
(様式例第10)

7 委員会の開催の実績 (様式例第11)

8 患者相談の実績 (様式例第12)

(様式例第9)

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

1 共同利用の実績

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| 1. 共同指導回数 | 223回 |
| 1) 共同利用を行った医療機関の延べ数: | 27軒 |
| 2) 1)の医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数: | 27軒 |
| 2. 共同手術 | 36回 |
| 3. 共同診療 | 223回 |
| 4. 病床利用率 | 88.0% |

(注) 一般許可病床数 222床 (全ての病床が共同利用に係る病床)

(注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲等

当院すべての設備、器械又は器具

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

3 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙 (1)				

(注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	222床
--------------	------

登録医療機関の名簿

平成25年3月31日現在

【別紙 1】

医療機関	開設者名	出水市	医療機関住所要請	標準科目	備考
福元医院	福元 修	出水市	米ノ津町3-30	内、循内	
境田医院	境田 通泰	出水市	米ノ津町35-20	内・外・産婦	
よしだ泌尿器科クリニック	吉田 二郎	出水市	黄金町427-1	泌尿器・透析	
東医院	東 保徳	出水市	六月町360	外・内・胃腸・肛門・麻・リハ	
整形外科ばばぐちクリニック	馬場口 泰宏	出水市	六月町711	整外・リハ	
出水総合医療センター	出水 市長	出水市	明神町520	全科	
林泌尿器科クリニック	林 豊秀	出水市	明神町2355	泌尿器・内・人工透析・性病	
つかさとクリニック	塚里 孝和	出水市	下知識町1518-1	内・神内・呼吸・消化	
市川医院	市川 昭則	出水市	緑町43-41	耳鼻咽喉・気管食道	
広瀬産婦人科医院	広瀬 正典	出水市	昭和町15-20	産婦・内	
出水眼科	藤井 智仁	出水市	昭和町26-6	眼科	
おかだクリニック	岡田 富志	出水市	昭和町45-1	消化・内・放射線・胃腸	
三慶医院	新 富義	出水市	上鱈淵1966	内・循環	
出水病院	今村 圭介	出水市	麓町29-1	精神・心療内・内	
吉田耳鼻咽喉科医院	吉田 重彦	出水市	本町3-5	耳鼻咽喉・気管食道	
二宮医院	二宮 信幸	出水市	本町4-45	小児・内・アレルギー	
クリニック. なかむら	中村 直英	出水市	向江町2-15	消化・内・呼吸・外	
福永内科循環器科	福永 秀哲	出水市	向江町13-28	循環・内・消化	
キッズクリニック	四位 昭人	出水市	向江町19-24	小児・内	
わかすぎ皮膚科クリニック	若杉 正司	出水市	中央町1390	皮フ・形成外・アレルギー	
平田整形外科クリニック	平田 健作	出水市	上知識町856	整外・リウマチ・麻・リハ	
しもぞのクリニック	下園 勇人	出水市	五万石町802	内・胃腸・麻・糖尿	
せき耳鼻咽喉科クリニック	関 大八郎	出水市	大野原町71	耳鼻咽喉	
こどもクリニック永松	永松 省三	出水市	平和町25-2	小児・内	
よう皮ふ科医院	葉 著	出水市	平和町133-1	皮膚	
楠元内科医院	楠元 孝幸	出水市	平和町224	内・胃腸・循環・心療内・小児	
さくら通りクリニック	山本 正昭	出水市	平和町228	脳外・リハ・神内・放射線	
吉井中央病院	吉井 八郎	出水市	平和町336	内・外・循環・胃腸・整外・リハ・消化	

出水市

登録医療機関の名簿

平成25年3月31日現在

【別紙 1】

医療機関	開設者名	医療機関住所要請	標榜科目	備考
出水市				
奥田蘇明会医院	山下昇三	出水市高尾野町大久保13	皮膚・内・精神・神経	
友愛クリニック	山里将昭	出水市高尾野町大久保2012-1	内・消化	
出水総合医療センター 高尾野診療所	出水市市長	出水市高尾野町大久保3816-28	内・外	
恒吉医院	恒吉礼三	出水市高尾野町柴引1515	内・消化	
第二病院	出水郡医師会	出水市高尾野町柴引2574	内・リハ	開設者同一
高尾野クリニック	田平英伸	出水市高尾野町下水流761	精神・内	
荘記念病院	若林友	出水市高尾野町下水流862-1	精神・内	
出水総合医療センター 野田診療所	出水市長	出水市野田町上名6103	内・循環	
来仙医院	来仙隆洋	出水市野田町下名6909	内・外・小児	
黒木胃腸科外科医院	黒木康文	阿久根市脇本7390-1	内・胃腸・外	
脇本病院	松元寛仁	阿久根市脇本9093-2	精神・神経・内	
しみずこども医院	清水貴士	阿久根市赤瀬川3880-3	小児	
植村整形外科	植村忠一	阿久根市赤瀬川4303-1	整外・リハ	
有村産婦人科・内科	有村徹	阿久根市栄町127-3	産婦・内・小児	
山田クリニック	山田和彦	阿久根市本町63	内・外・消化・肛門・理学診療・小児・胃腸	
阿久根眼科	伊比健児	阿久根市本町127	眼科	
上園医院	上園孝	阿久根市本町152	内・消化・小児	
北国医院	北国敏	阿久根市本町184	外・胃腸・整外・リハ・小児	
内山病院	古郷米次郎	阿久根市高松町22	内・外・胃腸・泌尿器・神内・放射線	
林胃腸科・外科	林干城	阿久根市大丸町86	内・消化・外・肛門・胃腸・リハ	
鶴見医院	高野卓二	阿久根市鶴見町119	内・呼吸・循環・消化・リハ	
門松医院	門松民夫	阿久根市鶴見町203	外・内・消化・呼吸・肛門	
いまむらクリニック	今村章	阿久根市塩鶴町2丁目123	泌尿器・内・人工透析	
長島町国民健康保険 平尾診療所	長島町長	長島町平尾134	内・外	
長島クリニック	田畑富士男	長島町指江82-13	外・内・胃腸	
飯尾医院	飯尾一成	長島町城川内88	外・内・婦	
長島町国民健康保険 鷹巣診療所	長島町長	長島町鷹巣1814	外・内	
阿久根市				
長島町				

(様式例第5)

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

◎阿久根市民病院学術講演会（前期）	
・ t-PA 治療の看護と今後の課題 a	(看護師)
・ 本人が思うより長く生きなければならない苦悩を抱えた患者への対応	(看護師)
・ 当院における NST 活動について	(管理栄養士)
・ 高気圧酸素治療の安全確保	(臨床工学技士)
・ 画像診断の適応と限界	(医師)
・ 循環器疾患におけるドクターヘリの有用性について	(医師)
◎阿久根市民病院学術講演会（後期）	
・ 心カテ入院時の集団オリエンテーション	(看護師)
・ ENBD の自己抜去をなくす取り組み a	(看護師)
・ 溺水患者の家族看護を振り返って	(看護師)
・ アルブミン値に及ぼす炎症所見と肝機能異常に関する検討	(薬剤師)
・ 当院の冠動脈 CT 検査における心拍数と成功率との関係	(診療放射線技師)
・ 噴門部領域の悪性狭窄に対し逆流防止弁付き食道ステントが著効した 2 例	(医師)
・ 新規抗凝固薬の使用経験	(医師)
◎診療連携勉強会	
・ 骨粗鬆症性椎体骨折の治療に関して	(医師)
・ 熱発の一例	(")
・ 侵襲と輸液について	(")
・ ユニット型特養の概要と事例報告	(")
・ 当院における食道がん治療の史跡及び地方病院での加療意義	(")
・ 悪性 GIST に対するイマチニブ低用量投薬の検討について	(")
・ 肩の痛みについて	(")
・ 診断に苦慮した胸背部痛の一例	(")
・ IBD 治療の最前線 a	(")
・ 泌尿器科緊急症について	(")
・ 当院で経験した九死に一生の一例	(")
・ CT・MRI 造影剤使用の注意点	(")
・ 当院における魚骨穿孔症例の検討	(")
・ 左下腹部に拡張した腸管ガスを認めた腸閉塞症の 1 例	(")
・ 突然死したたこつぼ型心筋症の一例	(")
・ ダブルバルーン小腸内視鏡	(")

<p>◎地域医療従事者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期患者のかかわり方 (医 師) ・MRSAと標準予防策について～うつらない、うつさない、ひろげない～ (臨床検査技師) ・褥瘡予防と最新の処置 (看護師) ・薬を安心して使うために薬の情報を活用しましょう (薬剤師)
<p>◎第2回川北薩地区研修会 「これだけは知っておきたい血液凝固検査（血液凝固検査）」 (派遣講師)</p> <p>◎第72回出水地域病院薬剤師研修会 「心不全を知り、治す。」 (派遣講師)</p> <p>◎第73回出水地域病薬剤師会研修会 「気分障害・不安障害とその薬物治療」 (派遣講師)</p> <p>◎第74回出水地域病薬剤師会研修会 「Naと水と利尿薬の基本的な考え方」 (派遣講師)</p>

2 研修の実績

研修者数	848人
------	------

(注) 前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- (1) 研修プログラムの有無 有 無
- (2) 研修委員会設置の有無 有 無

(3) 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験 年 数	特 記 事 項
富 永 博 之	医 師	整形外科	科 長	12年	
松 林 理	医 師	麻 醉 科	科 長	12年	
崎 田 浩 徳	医 師	外 科	科 長	20年	
加々良 一 朗	医 師	泌尿器科	科 長	16年	
堀之内 信	医 師	放射線科	科 長	18年	
安 崎 和 博	医 師	循環器科	医 長	9年	
小 島 聡 子	医 師	循環器科	医 長	6年	
福 森 光	医 師	内 科	医 長	7年	
平 原 正 志	医 師	脳 外 科	科 長	10年	
海江田 光 祥	医 師	整形外科	医 長	5年	
瀧 田 博 隆	医 師	外 科	科 長	12年	
下 野 洋 和	医 師	循環器科	医 長	5年	
坂 元 昭 彦	医 師	外 科	科 長	15年	
小 園 智 子	看 護 師			29年	
新坂上 さつき	看 護 師			10年	
高 田 マ キ	看 護 師		主 任	18年	
横 手 ひろみ	看 護 師			8年	
町 田 裕 美	看 護 師			7年	
中 村 雅 俊	看 護 師			5年	
堀之内 圭 子	管理栄養士		科 長	22年	

研修指導者氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床経験 年 数	特 記 事 項
末 田 英 志 郎	臨 床 検 査 師 技		科 長	26年	
吉 村 伸 一 郎	診 療 放 射 線 師 技			11年	
中 尾 承 司	薬 剤 科		主 任	18年	
蘭 田 晃 弘	薬 剤 師			5年	
中 里 純 平	臨 床 工 学 士 技			2年	
花 田 法 久	派 遣 講 師	出水総合医療センター 副院長			
寄 山 敏 男	派 遣 講 師	出水総合医療センター 消化器疾患センター長			
酒 井 健 一 郎	派 遣 講 師	出水総合医療センター			
伊 藤 森	派 遣 講 師	出水総合医療センター			
堂 崎 妙 美	派 遣 講 師	野田の郷 介護福祉士			
牟 田 正 一	派 遣 講 師	鹿児島医療センター 臨床検査技師			
宮 田 昌 明	派 遣 講 師	鹿児島大学大学院循環器・呼吸器・代謝内科学			
平 岡 秀 一	派 遣 講 師	MeijiSeikaファルマ(株) CNS領域部・学術G			
藤 田 芳 一 郎	派 遣 講 師	中部労災病院 研修センター長			

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
		(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
別紙【4-1、4-2】		(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

【別紙4-1】

施設の概要

(平成25年3月31日現在)

名称	公益社団法人 出水郡医師会立阿久根市民病院
開設者	公益社団法人 出水郡医師会 (会長 古郷 米次郎)
管理者	田 辺 元
所在地	阿久根市赤瀬川4513番地
電話番号	0996-73-1331
許可病床数	222床 (うち一般166床・ハイケアユニット6床・緩和ケア10床・回復期リハビリテーション40床)
診療科目	内科・循環器内科・神経内科・消化器内科・消化器外科・外科・小児外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科・放射線科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・眼科
職員状況	430名 (医師23名、非常勤医師16名、薬剤師9名、非常勤薬剤師3名、薬剤助手2名、臨床心理士1名、診療放射線技師13名、放射線助手2名、臨床検査技師16名、検査助手3名、理学療法士16名、作業療法士11名、言語聴覚療法士6名、リハビリ助手1名、臨床工学技士4名、管理栄養士4名、看護師175名、准看護師28名、看護助手17名、クレーン16名、事務職27名、労務職4名、保育士6名、医療安全管理室3名、地域医療連携室5名、診療情報管理士8名、看護学校11名)
関連施設	附属看護学校、院内託児所、出水郡医師会立第二病院
開設日	平成元年10月1日
建物構成	7病棟・診療科外来・管理棟等
敷地面積	20,608.34㎡
建物延面積	21,085.0㎡

各階の機能

外 来 ・ 管 理 棟 等	
4 階	会長室・役員室・会議室・大ホール・図書室
3 階	院長室・副院長室・診療部長室・診療部科長室(4室)・診療技術部長室 看護部長室・事務部長室(人事・企画管理室)・医療安全管理室・法人会計部
2 階	リハビリテーション室・カンファレンス室(2室)・医療情報管理係(電子カルテサーバー室) 厨房・栄養給食室・医療機器管理科・結石破碎装置室・高気圧酸素治療室 売店・食堂・医局・医局談話室・診療部科長室(6室)・診療放射線科技師室 臨床検査科・看護師(長)当直室・医師当直室・看護部更衣室
1 階	総合受付及び会計・医事課(カルテ庫)・地域医療連携室・医療情報センター 救急外来・事務当直室・/神経内科/麻酔科/放射線科(外来) 泌尿器科/脳神経外科/耳鼻咽喉科/整形外科/眼科/耳鼻咽喉科/隔離診察室(外来) 消化器病センター(外来化学療法室・内視鏡検査室) 放射線検査室(CT室・一般・透視・透視室・マンモグラフィー・MRI・フィルム庫) 循環器病センター(診察室・処置室・心エコー・心電図・呼吸機能・脳波・筋電図) 薬剤科・業務課(経理係・用度係)・総務課総務係・リネン室・霊安室・解剖室 手術室・中央材料室・手術家族控室・血管造影室

病 棟	
9 階	業務課施設係事務室(電気室・機械室)
8 階	循環器内科病棟(40床)
7 階	整形外科病棟(40床)
6 階	外科病棟(40床)
5 階	混合病棟(40床)
4 階	回復期リハビリテーション病棟(40床)
3 階	緩和ケア病棟(10床)・ICU(6床)・一般病棟(6床休床)・心理サポート室

病棟種別 ・ 全て一般病床

(様式例第6)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	田辺 元
管理担当者氏名	尾上 博美

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			
病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約			入院・外来—————ID順 診療録については電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	医事係・カルテ庫 医療情報管理係 サーバー室 手術室・事務室 フィルム庫 各病棟・外来 各診療技術科 地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第10)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	田辺 元
閲覧担当者氏名	尾上 博美
閲覧の求めに応じる場所	医事課事務室

前年度の総閲覧件数	13件	
閲覧者名	医師	13件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。

(様式例第11)

委員会の開催の実績

委員会の開催回数	12回
委員会における議論の概要	
【 運営委員会 】	
<実施年月日>	・平成24年 4月23日 ・平成24年 5月28日 ・平成24年 6月25日 ・平成24年 7月30日 ・平成24年 8月27日 ・平成24年 9月24日 ・平成24年10月29日 ・平成24年11月26日 ・平成24年12月25日 ・平成25年 1月28日 ・平成25年 2月25日 ・平成25年 3月25日
<議 題>	・病院運営状況について ・患者受入れ状況について ・病院収支状況について

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第12)

患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室の相談室・その他(各病棟のカンファレンスルームなど)				
主として患者相談を行った者	内山 葉子(社会福祉士・精神保健福祉士) 森重 勝実(社会福祉士)				
(複数回答可)	清田 みつ子(看護師)				
患者相談件数	7,038件				
患者相談の概要					
相談内容	年間件数	比率	相談内容	年間件数	比率
医療費	29	0.4	情報提供	425	6
受診	214	2.9	身体障害者意見書	274	3.8
在宅ケア	162	2.3	介護保険意見書	616	8.7
施設案内	140	1.9	その他書類	248	3.5
退院	727	10.3	連絡・問い合わせ	3,688	52.4
その他	611	8.7			
合計				7,038件	100.0%
<p>診療科毎にソーシャルワーカー2名と看護師の1名の計3名で分担。毎週、回診に同行し患者情報把握に努めている。相談ルートは、医師、病棟スタッフ、家族、本人・ケアマネージャーなどからである。医療機関・行政・居宅介護支援事業所などの院外からの問合せも多く、その件数も含まれている。ケアマネージャーからの入院時情報提供書により早期介入に勤めている。ケースによってはケアマネを含め関係者で退院調整カンファレンスを行っている。後方支援体制把握のために、2週間毎に地域の医療機関や施設の空床情報を集約し配信している。</p> <p>地域の医師会の先生方を対象に毎月行われている診療連携勉強会・診療連携協議会に参加させてもらい連携が図れるよう勤めている。</p> <p>24年度は患者支援サポートチームの立ち上げがなされ毎週金曜日に会議を開催し対応の振り返りや問題点の検討を行っている。</p>					

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。